

科目名		地形測量実習 II			
担当教員		中山 修		実務授業の有無	○
対象学科		環境測量科	対象学年	2	開講時期
必修・選択		必修	単位数		時間数
授業概要、目的、授業の進め方		測量分野において測量に加えて情報処理が重要な地位を占めてきている。地理情報システム(GIS)は測量分野において情報処理の代表的なツールであり、これからの建設業におけるCIMと関連すると考えられる。オープンソースの代表的なGISであるQGISを用い、地理情報を活用した情報処理について学んでほしい。			
学習目標 (到達目標)		GISにおけるデータ構造、属性情報、主題図などを理解し実際に作成や更新ができるよう学んでほしい。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		課題を記述したプリントを配布する。			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	GISのデータ構成			点、線や面のデータ構成を理解しデータを実際に作成してみる。	
2	属性データとデータベース			点、線や面の各地物にはそれぞれ属性データがあり、実際にデータを入力してみる。	
3	地物の修飾 (線の太さ、塗りつぶしなど)			できるだけ自分で機能を探しやってみる。	
4	主題図の作成			属性データを使って地物の色分け図を作成する。	
5	DEMのインポート			標高モデルをインポートする。	
6	鳥観図や等高線の作成			空中写真レイヤーを重ねて鳥観図を作成したり、等高線を発生させる。	
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
	%	%	取組姿勢 20 %	評価テスト 80 %	GISを理解し測量士補試験や今後の仕事に役立ててほしい。
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		測量会社にて測量および情報処理業務35年			